

## 2025 年度事業報告

### 【1】公益事業の部

#### 1. 臨床研究事業

**JFMC34-0601**：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

- 1) 追加報告書にて研究終了とした。

**JFMC41-1001-C2（付随研究）**：Stage II/Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

- 1) 遺伝子統合解析を実施中（JFMC47付随統合）。

**JFMC47-1202-C3（付随研究）**：Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

※JFMC41付随統合解析

- 1) 遺伝子統合解析を実施中（JFMC41付随統合）。

**JFMC48-1301-C4**：再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

- 1) 最終論文を作成中。

**JFMC50-1701-C6**：ロンサーフ（TFTD）使用症例の後ろ向き観察（コホート）研究

- 1) 英文論文を作成中。

**JFMC52-2401-N1**：乳癌の原発部位から転移再発部位におけるHER2発現のダイナミクスを検討する多機関共同後向きコホート研究

- 1) 症例集積を終了。（274例集積/目標250例 2025. 6. 24）
- 2) 中央病理判定, AI判定の実施。（2025. 5~2026. 3）
- 3) データ解析用プログラム準備。
- 4) 第1~3回実行委員会開催。（2025. 4. 26, 2025. 8. 27, 2025. 11. 18）
- 5) 外部倫理委員会へ変更申請, 定期報告。（2025. 7, 2025. 9, 2025. 11, 2025. 12, 2026. 2,）
- 6) 付随研究の検討, 実施。

**JFMC53**：進行・再発胃癌におけるがん免疫療法後の提出標本に関する腫瘍微小環境の検討ー化学療法単独との比較ー

- 1) 症例集積（77例）終了。
- 2) 症例報告書データ電子化

・2025年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2026. 3. 31時点

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
34	2006. 3-2007. 12	~2018. 8	30/37 (81. 1%)	116/110 (105. 4%)	研究終了
41付随研究	2011. 1-2012. 12	-	100/128 (78. 1%)	486/800 (60. 7%)	報告書作成中
47付随研究	2012. 8-2014. 12	-	159/244 (65. 2%)	893/1200 (74. 3%)	報告書作成中
48	2014. 2-2017. 1	~2024. 1	102/170 (60. 0%)	525/500 (105. 0%)	英文論文作成中
50	2017. 6-2017. 11	-	127/142 (89. 4%)	1770/1200 (147. 5%)	英文論文作成中
52	2025. 3-2025. 10	-	24/36 (66. 7%)	274/250 (109. 6%)	データ解析準備中
53	2025. 7-2025. 12	-	6/6 (100%)	77/64 (120%)	データ解析準備中

## 2. データベース支援委員会

- 1) 2020年度に採択された6研究のうち、終了していない4研究の解析を実施した。
- 2) 解析結果の論文化・公表関連業務を行い、01, 05, 06研究が論文公表。

研究番号	研究課題	現状報告
JFMC-DB2020-01	大腸がんT1/T2, N(+) 症例における術後補助化学療法の有用性	Cancers掲載
JFMC-DB2020-04	StageII、III直腸癌に対する術後補助化学療法の進行度ステージ別の有効性に関する後ろ向き探索的な統合解析	論文執筆中
JFMC-DB2020-05	高齢者における大腸癌術後補助化学療法の有効性と忍容性	Colorectal Disease掲載
JFMC-DB2020-06	大腸癌術後補助化学療法における有害事象と予後の関連	BJC掲載

## 3. 医療機器委員会

- 1) 第10回医療機器委員会を開催した。(2024. 3. 18)
- 2) 医療機器事業の推進にむけ、どのようなニーズに対して、どのような対策や整備をしていくべきかを分析し、医療機器委員会にて共有した。

## 4. 利益相反委員会

- 1) JFMC53実施に際し持ち回り審査を実施した。(2025. 4. 28)
- 2) 第8回利益相反委員会を開催した。(2025. 1. 16)

## 5. 広報委員会

乳がん市民公開講座への「協賛依頼」と「広報協力依頼」について協議した。

## 6. 再生医療事業

ADSC(脂肪組織由来幹細胞)による難病治療の講演会録画(YouTube)の字幕と音声の英語版作成・公開

## 7. 臨床試験審査委員会

JFMC53実施に際し持ち回り審査を実施した。(2025. 4. 25)

## 8. 財務委員会

JFMC53実施に際し持ち回り審査を実施した。(2025. 4. 18)

## 9. 臓器別・機能別研究班

- 1) 新規臨床試験実施に向けた委員会を開催した。

2) 進捗状況は下記の通り。

研究班	班会議実施日	2025年度の進捗
乳癌 (JFMC52)	2025. 04. 25 (第8回) 2025. 08. 27 (第9回) 2025. 11. 18 (第10回)	2025年3月 登録開始 2025年6月 登録終了 2025年7月～ データチェック、データクリーニング等実施 2026年3月 データバックアップ 2026年4月以降 解析作業予定
胃癌	2025. 07. 18 (第4回)	製薬企業に研究提案実施 不採用
食道癌		製薬企業に研究提案実施 不採用
免疫 (JFMC53)		2025年秋症例集積開始、12月データクリーニング 2026年1月CRFデータの電子化
がんと再生医療		幹細胞による制癌作用の研究(in vitro)論文作成中
手術・術式		-
肺癌		製薬企業の動向に併せ新規提案検討中
肝臓癌		-
大腸癌	2026. 01. 16 (第2回) 2026. 03. 30 (第3回)	提案研究の実施体制について検討 提案研究の実施体制について検討・新規臨床試験立案を目指した意見交換
医療機器		-

## 10. 啓発活動

乳がん市民公開講座・乳がんを知る～正しい理解が治療の第一歩～を開催した（2月22日）

当日参加人数：93名（事前申込人数：117名）

プレスリリース3回（PRTIMES）東京新聞（2/12）財団公式YOUTUBEより、アーカイブ動画を配信  
Instagram（患者インフルエンサー3人を起用し、告知とレポート投稿を依頼）

メディア報道：東京新聞（2/12）、フジテレビ（3/20）BSテレ東（4/15）

## 11. 広報・PR活動

- がん集学財団ニュース vol145 を作成した（7月）
- SNS（Instagram）・YouTubeにて情報発信を行った。中山祐次郎先生にYouTube動画にご出演いただき、啓発動画を配信した。
- PRTIMESを通じて、財団情報に関するプレスリリース配信を実施した。（7本）
  - 杏林大学医学部 乳腺外科教授 井本滋先生と乳癌の共同研究を開始
  - Boston Medical Sciencesとアドバイザー契約を締結
  - 理事・監事・評議員の改選
  - 乳がん市民公開講座のお知らせ（3本）
  - 乳がん市民公開講座のセミナーレポート
- 市民公開講座の集客と協賛企業獲得にあたり、以下を実施した。
  - 44の乳がん関連団体にご案内を実施し、団体内で告知を対応いただき講座に足を運んでいただく方も現れた。
  - 1に加えて、Instagramにて告知投稿と乳がん患者を対象に個別DM案内を約200名に送付し、広告出稿をせずに約100名の参加者を集めることできた。
  - 企業30社へのご案内を実施し、新たに保険会社1社との面談の上、財団のご案内を行った。結果、2社から協賛を得た。
- 当財団ホームページにおいて諸事業を適宜情報発信するとともにメールマガジンで事業報告を1900名以上に配信した。

## 【2】収益事業の部

### 1. 医療機器事業

- 1) Boston Medical Sciences株式会社が開発する「無下剤バーチャル内視鏡検査システム」の開発に関するアドバイザリーボードの契約継続中。2026年度もアドバイザリーボード会議実施予定。
- 2) 医療機器の営業担当と契約し、医療機器業務委託の可能性のある企業を探索。本年度は5社と面談実施するも具体的な依頼はなし。